

## 平成27年度 第3回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成27年12月18日(金) 午前10時00分 開会  
午後0時00分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 中会議室
- 3 出席者  
・町長 佐野 和広      ・教育長 渡辺 拓雄      ・教育長職務代理者 芦澤 和彦  
・教育委員 入月 一巳   ・教育委員 四條 勉      ・教育委員 望月 恵美
- 4 事務局等の出席者  
町長部局 総務課長 四條 和彦  
教育委員会事務局  
学校教育課長 青木 司   生涯学習課長 梶原 猛   学校教育課主幹 若林 将基
- 5 協議事項  
(1) 教育大綱の策定について  
(2) 教育予算関連について  
(3) その他
- 6 議事経過の概要  
次のとおり

### 1 開会 芦澤教育長職務代理者

(要旨) 過去2回、町長と教育委員で教育に関する情報交換をはじめ、将来に向けての話し合いが行われてきました。教育大綱もいよいよまとめとなります。限られた時間の中ですが、有意義な話し合いにしたいと思います。

### 2 町長あいさつ

(要旨) 今年度、最後の会議になります。先週の日曜日、まち・ひと・しごと創生会議があり、総合戦略が完成し、全戸に冊子されることになりました。この中には、この先5年間を見据えた政策があり、教育も入っていますが、細かいことは書いてありません。南部町の教育についての議論は、この会議で行いたいと思います。総合戦略は、人口減、少子高齢化等に基づいた政策なので、教育関係もそれを踏まえた対応を取らなければなりません。教育、文化に力を入れなければならない思いは人一倍ありますので、いろいろな意見を出していただければと思います。

### 3 教育長あいさつ

(要旨) 小中学校はあと1週間で休みに入ります。現在は学校行事を終え、2学期のまとめと長期休業への準備をしています。  
教育委員会の報告をします。学校教育課は適正規模等検討委員会から答申を

いただき、正月明けから具申案に係わる作業を始めます。また、南部中学校のコミュニティ・スクールの立ち上げに係わる作業に入る予定です。

生涯学習課は、文化祭、近藤浩一路展も盛況のうちに終了し、特に一本化した作品展は、今後に向けて一歩前進となりました。町民ゴルフ、ウォーキング教室も盛況でした。

歴史資料室も準備を進め、早ければ2年後には形のあるものにしたいと鋭意準備しているところです。

アルカディアスポーツセンターの利用者が大幅に増え、町民のスポーツ志向、健康志向が強まっていると感じました。長寿健康日本一の町という呼びかけが大きく影響していると思いました。教育委員会と町長部局が意思の疎通を図り、連携することで初めて大きな成果が得られるものと思います。

#### 4 第2回総合教育会議の確認

事務局が議事録に基づき説明し、内容が確認された。

#### 5 議事

##### (1) 教育大綱の策定について

教育長より、「資料2南部町教育大綱(案)」について説明があった。

(教育長) 今まで空欄だった1Pの「はじめに」について、意見を伺いたい。

(町長) 人口減の中で、いかに町を、国を存続させるかは、子供にかかっています。

その中でどういう教育、どういう支援をするのが基本となるので、この表現でいいと思う。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が完成したので3月に全戸配布するが、教育に関しては大綱が原点になると思う。

(教育長) 「はじめに」は行政の役割として、人材を育成し、将来を託せる子供たちを育てるという問題意識の中で書いたということでした。承していただけですか。

— 全員が了承した。 —

(教育長) 教育大綱全体を通して意見をいただきたい。

(町長) 地域の防災に対して、子供も一員と考えるのはいいと思う。

(教育長) 県の教育委員が「一日教育委員会」として南部中を訪れた時に、中学生が防災教育としてトリアージ訓練に参加したことや、防災教育を教育大綱に盛り込むことを話すと、とても関心を示し、学校教育の中で取組んだことに驚いていた。

(町長) 教育大綱はこれでいいと思う。それでは、具体的に何をするのか、問題はそこにあると思う。総合戦略は方向性と数値目標を出すことになっている。それにより新たな目標、指針が出来る。次回から、具体的に何をするのかということをお話したらどうか。

(教育長) それについては、議題の2で大綱を実現させるためには、今後どこへ予算付けするのか意見交換をしたい。

(委員) 「はじめに」の「地方創生も人づくりが原点です」は、文書の接続を考えると文中に盛り込んではどうか。

(教育長) 修正したものを近日中に見ていただき「はじめに」のことばとしたい。この案をもって大綱と認めていただけますか。

－ 全員が了承した。－

## (2) 教育予算関連について

(教育長) 近い視点と将来を見通した視点で話し合いをしたい。教育大綱を実現するためにはどんな予算的配慮が必要になるのか意見をいただきたい。また、9年間を見通したふるさと教育の議論をしていないので意見を伺いたい。

(委員) 文化館であれば、近藤浩一路を冠した絵の大会であり、南部の歴史に関する検定などに予算をつけて具体化できればいい。身延町で町税の1%を使った事業があるが、子供達がふるさと南部を考える意味で、南部町版を考えたらどうか。そういうものを発信する意味で、予算をかけて教育支援センター構想をしっかり作ったらどうか。

(教育長) それは、指導主事を置くということなのか。

(委員) 大分県玖珠町では、現職の教員を町の負担で置いていた。県の予算では配置できないので、町で指導主事を置いていろいろな面で発信できればいいと思う。

(町長) 南部町に住んでいながら南部の歴史を知らない人が多いので、段階を追いながらやっていきたい。交付税が減り、予算が厳しいということを理解していただきたい。

(委員) 出来ることから手を付けていただきたい。

(委員) 南部町の教育予算は全体の9.8%だが、各課の予算は全体のバランスを見ながら決めているのか伺いたい。

(総務課長) 町の予算は、経常経費、重点施策など必要なものを、財源を見ながら編成をしているのでバランスではない。

(委員) 授業改善のための支出なら、学校の希望を聞き、計画的に予算計上してほしい。山梨県が最下位だった学力学習状況調査Bに対応するため、電子黒板を各校1台ずつ用意してもらいたい。予算がかかるので、学校で計画を立て、それを教育委員で確認して購入したらどうか。また、N授業の回数を増やすために、子供たちの移動に必要なバス代等の予算を取ってほしい。予算が見えないと回数も増やせないだろう。

(教育長) 子供たちの輸送については、教育委員会でスクールバスを使い、できるだけお金をかけないで効率を上げるようにしている。また、ICT教育については、各校から要望が上がってきている。大型テレビを使った授業を見て来たが、テレビでなければできない視覚的な効果があると思う。

(町長) 町の活性化のためには、まず道の駅、企業誘致など、住民がこの町に住んでよかったと思う町づくりをして、次に教育を考えたい。人が住まないことには町

づくりが始まらないので、そこを理解してほしい。

(委員) 町の活性化を教育サイドから考えていくことが教育委員として大きな使命の一つだと思う。南部中がコミュニティ・スクールの指定に向けて行ったアンケートの中で子供達は、南部中の誇りはあいさつと答えている。住んでよかったと思える町にするのには、あいさつが一つの手掛かりになると思う。また、南部の火祭り、たけのこ祭り等に参加させることにより、地域意識を無くし、一つの町だという考えを持たせられる。小中連携には、中学校の合唱を小学生に聞かせることも必要だと思う。

(委員) 教育支援センターは、不登校対策、未来塾が中心となっているが、いじめや特別支援等をサポートする相談窓口があればよいと思う。

(教育長) 不登校については相談を受け付けている。意見が出された教育支援センターの充実、小中連携、ふるさと教育等、いずれ専門的に推し進める人が教育委員会の中に必要になってくる。町の活性化の次に教育という話があったが、指導主事の配置があれば具体的になると思う。厳しい財政状況の中だが、これからの教育、大綱を考えたときに、指導主事が必要となるので将来的に配置をお願いしたい。

最後に、3回開いた総合教育会議のまとめを町長をお願いしたい。

(町長) ご苦労様でした。活発なご意見をいただきありがとうございました。これからは教育委員会が中心となり、南部町の教育を進めてほしい。私も、出来る限り予算に配慮したいと思います。

(教育長) 7月から3回にわたって総合教育会議が開催されました。これまで、町長と教育委員会が教育について論ずる場面がありませんでしたが画期的な年になりました。これを基に、来年、再来年と教育の今、将来を語る機会になればと思います。南部町の子供達のため、老若男女の豊かな人生のために、教育の果たす力を発揮できるようにご支援をお願いいたします。

## 6 閉会 四條 勉委員

(要旨) お疲れ様でした。南部町の教育が大綱に沿いながら順調に進んでいくことを願っています。いろいろな方の意見を参考にしながらいけばいいと思うので、これからもよろしく申し上げます。